

三水会会報

北里大学水産学部
同窓会会報
第 42 号

平成 13 年 9 月 10 日発行

編集者 川 添 一 郎

発行 三水会（北里大学
水産学部同窓会）

事務局 〒246-0031 神奈川県横浜
市瀬谷区瀬谷5-22-1
TEL・FAX045-303-3135

振替口座 第一勧業銀行
大手町支店
008-1182388

新学生課長 長久英三教授

P 2 ~ 3

平成13年度 三水会定期総会報告

P 4

関東地区親睦会

P 5

OB会だより・OB会によせて

P 6 ~ 7

クラブ助成金を頂いて

P 7

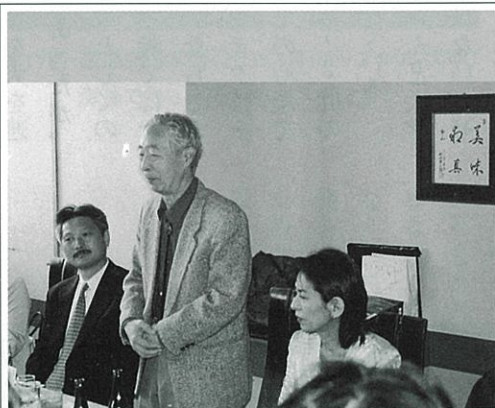
球技祭を終えて

P 7

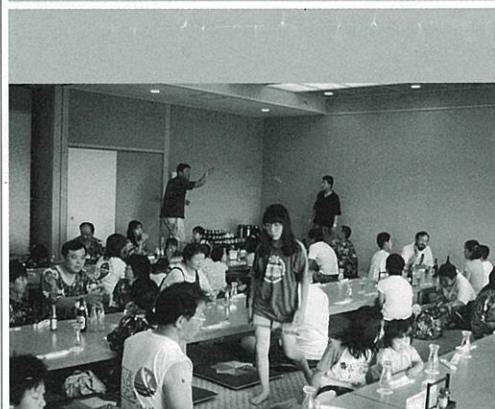
見たい・知りたい・話したい

P 8

OB会案内、奨励金について



太田先生を囲む会



関東地区親睦会

O
B
会
・
親
睦
会



平成13年度 総会風景



潮干狩を楽しむ山田ファミリー

散歩をする年頃

新学生課長 長久英三教授

この原稿を頼まれたとき、山森先生から引き継いで学生課長になったばかりの時であった。それで、これは学生課長としての職務なのだと理解し、学部の近況でも書けばいいのだろうと

気楽に引きうけてしまった。ところがその後、同窓会報に水産学部の近況を書くよう依頼が来た。改めてバックナンバーを調べてみると両誌ほぼ同時期に発行されている。これでは同じ原稿を使うわけには行かない。というわけで、高校時代以来書いたことのない「作文」を書く羽目になったしまった。

最近、といってもホンのつい最近からだ、早朝、散歩をするようになった。3、4年前、町田の郊外に移ってから、帰省

した時、時々家の周りを犬を連れて散歩することはあったが、もともとエクササイズとしてのジョギングや散歩は主義ではなかった。犬でも連れてならさまにもなるが一人でテクテクは：：というのがこれまでの心境であった。運動は週1、2回のテニスで大体間に合っている。

三陸にいる時はほとんど大学構内でしか歩くことはない。せいぜい、毎日夕食を食べにフォインタナまで歩くくらいだ。これとて距離にして往復でせいぜい5、600メートルくらいだろう。そんな私が毎朝小1時間も散歩するようになったのはなぜだろう。

今年、私は還暦を迎えた。親父の還暦を祝ったのは私が二十



第17回 国際海藻学会 (2001.1月・ケープタウン大学)
菅野助教授と

五歳の時だが、その時の印象では、今の自分よりもっともっと老けていた(あるいは貫禄があった)ように思う。自分が還暦を迎えたなんて納得できないと言うか、どうもピンとこない。現在の平均寿命を考えれば〇・八掛けで、四十八歳なのだと言われれば即

納得出来るのだが。

と思いつつ、最近神戸に行く機会があり、久しぶりに親父と一緒に歩いてショックを受けた。平坦地では親父の方が歩くのが速いのである。親父はもう老人性ボケの初期症状が出つつある。もちろん耳も目もかなり悪い。



第17回 国際海藻学会 (2001.1月・ケープタウン大学)
海藻で作った笛を吹いているところ

でも足は強い。若い時からしょっちゅう散歩をしていたからだろう。今でも毎日1時間くらい散歩しているらしい。それで刺激されたのかもしれない。それと、この頃朝5時頃には目が醒めてしまうのも理由か。

大学の浦浜宿舍周辺を歩いてみると思いの外、道が沢山ある。どこに行くか分からない道を歩くのも意外と面白い。随分歩いたつもりでも、ほとんどスタート地点と変わらないところに戻っ

てくることもあるし、いつの間にか民家の庭先に入り込んでしまふこともある。これまでの十一年間の三陸生活で通った道といえは国道四十五号から大学までの通称浦崎道路とホンの僅かな隣接道路だけ、それもほとんど車である。そこで思い立った。よし、三陸町の道を全て走破いや歩破してやろう。

人間何か目標を作れば結構やる気になるものである。特にそれほど難しくもない目標であれば。

挫折しなければ、この原稿が公開される頃には浦浜地区の道は制覇しているだろう。先人の言うように、確かに散歩には新しい発見がある。今まで通ったことのない道を歩くのだから、当たり前前と言えは当たり前だが。また、散歩は人を詩人にするらしい。今まで気づきもしなかった道端の花に目を凝らし、鳥の声に耳を澄ます。漁に出る小船に何となく感傷的になる。散歩だけのせいだろうか。それとも還暦のせいかな。

ともあれ、せっかく始めた散歩なのだから目標貫徹まで続けなくっちゃ。そして、どうせ主義を変えたのだから、寒くなったらジョギングにも挑戦してみるか。



平成十三年度 三水会定期総会報告

平成十三年度定期総会が五月十二日（土）午後一時三十分より本学白金校舎E号館八〇二会議室で開催された。

理事・代議員四十四名が出席（内委任状十六名）総会は成立した。議長に梶田秀人氏（二期F A）、議事録署名人に石川義行氏（二期F F）・柳沢明美さん（七期F A）を選出した。会議の冒頭長谷川会長より平成十二年度に開催した二〇周年記念事業の報告と協力への感謝の意が伝えられた。議事に入り上程された平成十二年度事業報告、同収支決算及び平成十三年度事業計画案、同収支予算はすべて原案通り賛成多数で可決されました。



平成十三年度 事業報告
一、会報の発行
同窓生の動向、学部の実況、各種の情報等を含めた会報を平成十二年九月と平成十三年三月の二回発行した。

二、「水産学部だより」の配布
一、会報の発行
同窓生の動向、学部の実況、各種の情報等を含めた会報を平成十二年九月と平成十三年三月の二回発行した。

平成12年度 収支決算書

支出の部			収入の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
1. 事業費	6,700,000	5,539,027	1. 部会助成金	4,395,000	4,395,000
(1) 会報発行費	1,300,000	1,550,985	2. 20周年記念事業収入		
(2) 学部だより配布費	250,000	228,000	(1) 講演会助成金	1,200,000	1,200,000
(3) 20周年記念事業費	4,500,000	3,124,710	(2) 会費収入	1,000,000	1,405,970
(4) 学友会助成費	200,000	200,000	(3) 寄付収入	800,000	1,021,310
(5) 就職ガイダンス費	250,000	240,261	(4) 事業積立金取崩収入	500,000	0
(6) 大学・学生懇談会	150,000	145,071	3. 前年度繰越金	1,232,997	1,232,997
(7) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000	50,000	4. 貯金利息	4,805	4,695
2. 運営・管理費	2,570,000	2,014,478	5. 雑収入	190,000	291,700
(1) 印刷・通信費	300,000	310,264			
(2) 会議費	550,000	548,682			
(3) 総会費	100,000	82,050			
(4) 事務局費	1,090,000	1,033,482			
(5) 慶弔費	30,000	40,000			
(6) PC積立金	500,000	0			
3. 予備費					
(1) 次期繰越金	52,802	1,998,167			
合 計	9,322,802	9,551,672	合 計	9,322,802	9,551,672

※平成12年度予備費（次年度繰越金）1,998,167円の内、PC積立金（¥500,000）が含まれる。

平成13年度 予算

支出の部		収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
1. 事業費	3,050,000	1. 部会助成金	4,260,000
(1) 会報発行費	1,400,000	2. 前年度繰越金	1,998,167
(2) 学部だより配布費	250,000	3. 貯金利息	4,695
(3) 関東地区親睦会	500,000	4. 雑収入	390,000
(4) 同期会助成	250,000		
(5) 大学・学生懇談会費	150,000		
(6) 学友会助成費	200,000		
(7) 就職ガイダンス費	250,000		
(8) 漁船海難遺児育英会寄付	50,000		
2. 運営費	2,570,000		
(1) 印刷・通信費	300,000		
(2) 会議費	550,000		
(3) 総会費	100,000		
(4) 事務局費	1,090,000		
(5) 慶弔費	30,000		
(6) OA購入積立金	500,000		
3. 予備費	1,032,862		
合 計	6,652,862	合 計	6,652,862

本学水産学部の発行する「水産学部だより」を増刷し、三月発行の会報と共に配布した。

三、会員の現況の把握
全学同窓会と連携し、不明会員の調査等名簿情報の正確性の向上に努めた。

四、「二十周年記念事業」開催
①講演会の開催
全学同窓会が開催する講演会を三水会の協力で行った。尚、今年度は二十周年記念事業の一環として平成十二年十一月四日に池袋サンシャインシティ文化会館501会議室にて開催した。

②「二十周年記念親睦会」の開催
親睦会を十一月四日に東京池袋サンシャイン国際水族館において行った。

五、懇談会の開催
大学、水産学部在学生との懇談会を開催し意見交換を行った。

六、学友会助成
大学祭、体育祭費用の一部の助成を行なった。なお、クラブ助成については「茶道愛好会」に助成した。

七、就職ガイダンスの開催
各分野の卒業生による就職ガイダンスを水産学部生を対象に三陸校舎にて行った。

八、漁船海難遺児育英会寄付
漁船海難等により親を亡くした子弟に学費の援助を行っている漁船海難遺児育英会に寄付を行なった。本年度二十周年記念親睦会開催会場にて感謝状をいただいた。

関東地区親睦会

四期生 古藤 秀典

潮干狩りの案内が届いた。しかしながら家族の反応は今いち、暑そうだ、疲れそうだ、考える事は皆同じ、でも今回は龍宮殿という施設が使えると解った時点で皆んな俄然行く気モードに入ったようだ。

七月二十一日当日、天気は曇り、猛烈な暑さが続いていた異常気象の中、適当に雲がかかりとても過ごし易い一日であった。



愛妻と……

真夏の潮干狩りと聞くだけで腰が引けていたのだが、この施設があるという事で安心して家族と妻の弟家族の総勢八人で参加させて戴きました。受付けを済ませいざ潮干狩りへ、三水会の懐かしい面々が入口で待機してくれ、人数分の熊手、網を手渡し、してくれる。クーラー持参だけで事足りる幹事の皆様の心配りに感謝しつつ出発。十分程歩きさっそく掘り始めると、あるある、最初こそ二、三人で固まって掘っていたが、いつのまにかそれぞれが自分の世界に入って皆んなバラバラ。アサリ関係者楠本氏より「白くふつくらとした、

いかにも美味しそうなこの貝は、つぶと呼び美味しくない」と聞き、早速、「オーイ、皆んな、これはつぶ貝でまずいので捨てろ」と、いかにも知ったような感じで皆なに教えている自分が少し恥ずかしいが、水産学部出身の父親としては、このへんで威厳を示さねばならないと思ひ皆んなを見廻すが、少し顔を上げただけで無視するかのよう、ただひたすらに貝掘り続けている。こんな広い砂浜では、大人も子供も、男も女も、少女も少年もまるで関係ないなという至極単純な事に気が付いた。沢山のアサリを確保し戻って来ると「砂抜き用海水」というすごい利器もあり、家に帰るころにはちゃんと砂抜きされてすぐ食べられると言う。ここでも妙に感心してしまった。普段あまり口を開かない義弟が、「今日は子供達にとって、言葉や本ではとても教えられない貴重な体験をさせて戴きありがとうございます」と言われとても嬉しかった。



愛娘 梓と梢

さて、取って来たアサリだが、先ずその夜酒蒸しでたっぷりとし、次の朝は当然みそ汁、夜は炊き込みご飯に、アサリと豚肉のキムチ汁と、きつちりとアサリを堪能することが出来ました。幹事の皆様大変お世話になりました。又お会い出来る日を楽しみにしております。

海洋分子生物学研究室

(LME・OB会)

幹事 森山 俊介(十期)

さる四月一日、春真っ盛りの土曜日の午後にLME・OB会を新高輪プリンスホテル・レストラン桃李で開催しました。当日は、川内浩司先生、高橋明義先生を始め一期生から今年の三月に水産学部を卒業した二十六期生、また、お忙しいなか三水会会長の長谷川一敏様と美人の奥様を含め二十八名が参加しました。

LME・OB会は、毎年四月上旬に



東京で開催されていますが、毎回欠かさず出席する人や、ひょっこり現われる人、また名字や勤務先が変わっている人など、毎回話題に尽きません。年齢および風貌こそ変化していても、川内先生のもとで、研究に飲み会にいそしんだOB生にとっては、研究室での思いでが語られる度に、年代を超えて、その場にいたかもし一緒に過ごしていたかのように緊張感が伝わってくるのは参加者全員に共通することだと思えます。「同じ釜の飯を食った者同士、死ぬも生きるも一緒」とはかくのごとく、川内先生とOB生が時間的な尺度では測り知れない太い絆で強く結ばれていることを痛感します。これからも会を重ねるごとに新たな展開が期待できます。また、LME・OB会会員の皆様、お忙しいとは思いますが、一度この会に立ち寄って下さい。きつと以前とは違った気持ちでこれからの人生を過ごせると思います。最後に、この会を開催するに当たり、三水会から援助して頂いたことに関し、お礼を申し添え致します。

利用学研究室(太田教室)

OB会によせて

四期生 伊藤 知尋

さて、早いもので水産学部を卒業し後ろ髪を曳かれる思いで崎浜を後にしてから、二十二年が経ってしまいました。その間、公私共にお世話になりました日下先生のご葬儀に参列したのみで、懐かしの三陸に思いを馳せるだけで帰ることも無く、太田先生にも大変ご無沙汰をしておりました。いつしかまた懐かしい先生や研究室の仲間に出たい、そんな思いの中昨年十一月「三水会設立二十周年記念講演会・親睦会」に参加できその思いが一気に現実のものとなったのでした。

その時太田先生や先生の事務を執っておられた中野さん(当時研究室仲間の憧れの人でした)、そして卒業生の皆にお会いし、「太田先生を囲んで旧交を深め三陸を懐かしもう」と言う事になったのです。慌しく四ヶ月が過ぎ準備不足の中、その日がやって来たのでした。

去る四月十四日(土)十回生の永野君がやっている、赤坂のどんかつ「やげん亭」(これがまた料理が美味い)に総勢十七人が集まり、もちろん太田先生、中野さん、一回生から十一回生



まで、在京のOBが集い、尽きる事無く思い出話に花を咲かせました。

太田先生には先年体調をくずされた旨をお聞きし、お身体のことのが気になりましたが、現在は大丈夫との事、懐かしさのあまり先生のお話をあまり聞かず、自分だけ喋りどうしたったような気がし、在学中迷惑を掛けっぱなしだった事を今、思い出してしまいました。一回生の中山、宇田川、大野諸先輩にもお忙しい中お出で頂き、水産学部が三陸に創立した当時の貴重なお話を伺う事ができ、また、同期の三谷、成田、そして事務局の石井さんにも会うことができていっさい話し込んでしま

いました。

夜が更けるのも忘れて、といきたい所でしたが、ふと現実に戻るとそうもいかず、次回は後輩に企画を任せ是非は非またの再会を約束して、夜の赤坂に三々五々散っていったのでした。

太田先生、またお会いできるときまでどうぞお元気で、ご自愛ください。

最後になりましたが、長谷川会長ならびに石井さんには色々ご尽力頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

クラブ助成金を頂いて

茶道愛好会 主将 長瀬 保子

このたびは三水会助成金を頂きありがとうございます。

私たち茶道愛好会は、週一回のペースで米田先生の指導のもと、活動を行っています。春には桜の木の下でお花見お茶会を開き、そして秋には漁火祭や三陸町の文化祭に参加しました。部内では、初釜やお雛祭りのお茶会も行いました。大船渡で行われているお茶会にも参加させて頂きました。

今年は去年より積極的に校内で、部員以外の学生を対象にしたお茶会を開きたいと思っています。その時にこの

助成金を使わせて頂きたいと思っています。また、お稽古やお茶会を開く時に使っている道具のほとんどが、先生からお借りしているものなので、それを自分たちでそろえる為に使わせて頂きたいと思っています。

これからも部員全員で頑張っていきたいと思っています。

本当にありがとうございます。



球技祭を終えて

球技祭実行委員長 早瀬 文吾

五月十九日、二十日の二日間にわたって球技祭を行いました。初日にはソフトボールとドッチボール、二日目にはバトミントンをを行い、どの種目も白熱した試合が繰り広げられました。今年は賞品の方に予算が多く出せた事により、例年になく多くの参加者が集まりました。ソフトボールでは研究室を中心とした八チームが参加し、先生方

も数名参加していました。普段は授業でしか接触する機会がない先生方の違った一面が見られて新鮮な感じがしました。

実行委員としてはみんなで計画を練ったつもりでも当日になって道具や審判が足りなかったりと、ハプニングの連続でしたが全員怪我もなく楽しく球技会を終えることが出来ました。

三水会からは今回の球技会に対して過分のご援助をいただき本当にありがとうございます。来年以降も今の二年生を中心として球技祭を盛り上げていってもらうつもりです。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。



見たい・知りたい・話したい

◆ OB 会案内 ◆

■ K・Uランフォート会 開催のお知らせ

2001年10月6日にK・Uランフォート会を開催致します。今回は長久教授の還暦のお祝いを兼ねております。奮って参加して下さい。

尚、日時・場所・参加の有無などは後日、はがきにて郵送いたします。

問い合わせ先 03-5489-0352 水野まで

■ 三水会九州地区親睦会 開催のお知らせ

下記の日程にて、水産学部名誉教授 小林正典先生をお迎えし、九州地区親睦会を開催致します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催日時：平成13年10月27日（土曜日）午後4時30分受付

午後5時より小林先生の講演があります。

開催場所：福岡市博多区祇園町6-43（祇園柴田ビルB1）

「中の濱」TEL092-282-5544

参加費：7,000円（大人一人）

連絡先及び申し込み先

稲沢 昌茂（食品学科5期）

TEL095-850-2077（横浜冷凍（株）長崎営業所）

FAX095-850-3125

携帯 090-4980-8006

参加希望者には、詳しい場所（地図）、日程をお送り致します。

◆ 平成14年度 奨励金について ◆

若手研究者研究奨励基金の募集

第13回 北里大学同窓会若手研究者研究奨励金の募集についてのお知らせ

1. 応募資格者：北里大学卒業後15年未満の研究者（個人）
2. 奨励基 額：30万円
3. 応募締切：平成14年1月末日
4. 応募方法：応募要領と用紙は同窓会事務局にありますのでご請求下さい。

TEL.03-3446-7309

訃報。永年「田中アパートの大家さん」として親しまれ、多くの卒業生を送り出しました、田中恒雄さんが、8月30日病気の為ご逝去されました。（享年71才）慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

〈大家さんの住所〉三陸町越喜来字肥の田51 田中聖一

TEL0192-44-2482

編集後記

今年は記録的な猛暑に見舞われ、会員の皆様はいかがお過ごしですか。

7月21日に開催されました関東地区親睦会において、昨年大同窓会が行われたにも関わらず、約80名の会員が参加されました。また、OB会においても、太田先生を囲む会が発足されました。改めて、三水会の絆の深さを感じます。

世の中、物騒な事件や熱中症に見舞われる記事が連日報道される中、会員の皆様が心健やかにお過ごしされることを御祈り申し上げます。